KWANSEI GAKUIN ELEMENTARY SCHOOL

2026年度 学校案内

関西学院初等部
KWANSEI GAKUIN ELEMENTARY SCHOOL



16年にわたる一貫教育の第一歩

“Mastery for Service”を体現する世界市民の育成をめざして

関西学院では初等教育から大学・大学院までの概ね16年間を通して、
スクールモットー“Mastery for Service”の精神を鍛え、それを体現する人材の育成をめざします。
初等教育は一貫教育の第一歩。多様な学び、そして他者とのかかわりの中で、
将来社会で活躍するために必要な土台を築きます。

スクールモットー

“Mastery for Service”

関西学院のスクールモットー“Mastery for Service”は、「奉仕のための練達」と訳され、隣人・社会・世界に仕えるため、自らを鍛えるという関学人のあり方を示しています。

ミッションステートメント

関西学院は、キリスト教主義に基づく「学びと探究の共同体」として、ここに集うすべての者が生涯をかけて取り組む人生の目標を見いだせるよう導き、思いやりと高潔さをもって社会を変革することにより、スクールモットー“Mastery for Service”を体現する、創造的かつ有能な世界市民を育むことを使命とします。

めざす人間像

“Mastery for Service”を体現する世界市民

世界を視野におさめ、人への思いやりと社会変革への気概をもち、高い識見と倫理観を備えて自己を確立し、自らの大きな志をもって行動力を発揮する人。

関西学院一貫教育の流れ

初等部 → 中学部 → 千里国際中等部※ → 高等部 → 千里国際高等部 → 関西学院大学 → 関西学院短期大学 → 世界市民へ

※初等部からの推薦は0〜10名

一貫教育を支えるキリスト教の教え

関西学院の一貫教育では、キリスト教主義に基づいた全人教育を展開しています。初等部では毎朝の礼拝や聖書の時間を通して子どもたちの豊かな心を育成。数多くの教えの中でも、初等部で特に大切にしているのが「幼子はたくましく育ち、知恵に満ち、神の恵みに包まれていた」（ルカによる福音書2章40節）という言葉です。この言葉には、神の豊かな恵みと愛に包まれて、心も体もたくましく成長してほしいという、初等部で学ぶ子どもたちへの深い思いが込められています。

動画で詳しく!

意志
高い倫理と自立の精神を備えた子ども

情操
感性豊かで国際性を備えた子ども

知性
論理的に考え確かな学力を習得する子ども

初等部聖句
「幼子はたくましく育ち、知恵に満ち、神の恵みに包まれていた」
新約聖書ルカによる福音書 2章40節

初等部から世界を導く存在へ

社会でさまざまな変化が起こり、世界全体が不安定な状況を迎えている現在。人々はあらゆる垣根を越えて、他者に寄り添い、共に歩むことを必要としています。創立者のウォルター・ラッセル・ランバスの理念と精神を表すスクールモットー、“Mastery for Service”。初等部では「社会と人のために、自らを鍛える」と訳され、子どもたちの高い倫理観や豊かな感性、国際感覚、そして他者に寄り添う奉仕の精神を育むための土台として伝えられています。“Mastery for Service”を体現することが、まさに今世界で求められている人材になることであり、初等部から羽ばたいていく子どもたちはこれからの時代を導いていく存在となるでしょう。

学校法人関西学院 院長　中道 基夫



関西学院は幼稚園から大学・大学院を有する総合学園であるとともに、卒業生の皆さんとのつながりを大切にしている生涯教育機関でもあります。その目指すところは「“Mastery for Service” を体現する世界市民」の育成であり、その実現のために関西学院ファミリーが一体となって協力しているところに教育の特徴があります。もう一つの関西学院の教育の特徴は、キリスト教に基づいた人間理解です。人間は、からだ・こころ・魂によって成り立ち、この３つが満たされてこそ健康であると言えます。聖書に「人が独りでいるのは良くない」（創世記２章 18 節）とあるように、人とそして自然と共に生きることによって私たちの幸福が実現します。この二つの根底にあるのが、「あなたは愛されています」という聖書の言葉です。
子どもたちが、関西学院ならではの教育に出会ってくださることを願っています。それは、子どもたちの魂に生涯消えることのない光と暖かさを与えてくれるでしょう。

関西学院 初等部長　福万 広信



関西学院初等部の一日は礼拝から始まります。心を静め神と自分に向き合う礼拝は、初等部が最も大切にしている時間です。子どもたちは、讃美歌を歌い、聖書の教えに耳を傾けながら、感謝の祈り、また困難な状況にある人々のために祈りをささげ、スクールモットー“Mastery for Service”に基づくメッセージを受け取ります。6年間で約1200回、子どもたちはこの礼拝を通して自らの歩みを振り返り、自分はどう生きるのかということを深く考えながら日々生活をしていきます。この経験は必ず子どもたちの生きる力となり、人生を支える土台となっていくことでしょう。初等部のキリスト教主義教育の中心は、子どもたち一人ひとりを価値ある存在として、ありのままを受け入れ、誰ひとり取り残さない教育です。自分が愛され、かけがえのない価値があると感じられる子どもたちは、自らも誰かを愛する人、大切にする人として成長していきます。やさしさや思いやりにあふれた学校で育つ子どもたちは、必ず誰かに寄り添い、誰かの支えとなり、誰かを助けて生きていく、それを自分の喜びとして歩む人になります。今の時代をたくましく生きる知恵と力を身につけ、他者を愛し、他者のために生きようとする子どもたちを私たちは育ててまいります。



初等部 4 つの柱

聖書・礼拝 p.5
Bible
礼拝や聖書の時間を通じて、
人を思いやる気持ち、
小さなことに感謝できる心を育む。

国際理解 p.6
Global
英語力を高め、
コミュニケーションを楽しみながら、
異なる価値観の獲得をめざす。

全員参加・理解 p.7
Universal
みんなで主体的に
問題解決を図りながら、
確かな学力の獲得をめざす。

本物 p.8
Authentic
文化、スポーツ、芸術、
自然に触れる機会を通じて、
豊かな感性を育む。

初等部の柱 1

聖書・礼拝

Bible

人を愛し、愛されるリーダーへ。



動画で詳しく!

こころの時間

毎朝の礼拝から、人や社会を思いやる心を育む

全校児童と教職員がチャペルに集い、讃美と祈りをささげ、聖書の御言葉に耳を傾ける毎朝の礼拝。子どもたちは、礼拝で語られる言葉や問いかけから、スクールモットー“Mastery for Service”（社会と人のために、自らを鍛える）の精神を学び、「生きること」に静かに向き合います。この時間が人生のさまざまな困難を乗り越えていく力となり、人や社会を思いやる豊かな心を育んでいくと考えています。



聖書の時間

聖書の教えを学び、たくましく思いやりある人間へ

聖書の授業では、一人ひとりの存在価値や他者を愛して生きることを学びます。聖書の言葉は、人生のさまざまな場面で勇気や希望を与えてくれます。この授業を通して、子どもたちは力強く生きるためのたくましさと思いやりの心を育みます。



自然体験キャンプ

自然の中で聖書の言葉に触れ、静かに自分を振り返る

関西学院所有の千刈キャンプ場をはじめ、自然豊かな環境で行われます。日常生活を離れ、豊かな自然の中で聖書の言葉に触れる体験や、さまざまなプログラムから、新たな発見や気づきを得た子どもたちは、ひとまわり大きく成長します。

SDGs Report

献金活動

世界の人々に 健康で幸せな生活を

3 すべての人に健康と福祉を

毎年、国内や世界の人々のために献金を募ります。また大きな災害などが起こった時にも、献金を行い、苦しみの中にある人々のために祈ります。



Voice

チャペルの時間はみんなの心が一つになるので大好きです。讃美歌を歌ったり、聖書を読んだり、先生や上級生のお話を聞いたりします。また戦争で苦しんでいる人や病気で学校に行けない人の苦しみや悲しみに寄り添ってお祈りをします。聖書の授業では「あいってなに？」というテーマについてクラスメイトと話し合いました。「あい」とは人への優しさや思いやりだと私は思います。私はあいをたくさんもった人になりたいです。



初等部の柱 2

国際理解

Global

世界市民の一歩をふみだす。



カナダ・コミュニケーション・ツアー（CCT）

異なる言語や文化に触れ、世界市民としての基礎を養う

世界市民としての基礎を養う初等部では、英語でのコミュニケーション力、国際感覚、豊かな感性を伸ばす集大成として、6年生を対象に「カナダ・コミュニケーション・ツアー（CCT）」を実施。現地小学校の児童やホストファミリーの方々と交流する中で、文化や環境が異なる相手の思いを正しく理解し、英語で自分の思いを伝えることの難しさや大切さを学びます。



CA（カルチュラル・アンバサダー）さんとバンクーバーにあるスチーム・クロックを探しに行きました。美しい街並みを楽しむなど、貴重な体験は思い出に残っています。



とてもフレンドリーなCAさんとアリティッシュ・コロンビア大学の構内を散策しました。カナダについていろいろなことを教えてもらい、楽しい時間を過ごしました。



ホストファミリーはとてもやさしく、手作りのピザを用意してくれたり、海に連れて行ってくれたりと、親切に私たちを気にかけてくださいました。



現地の方と、漢字やひらがななど、日本の文化についてジェスチャーを交えて話しました。言葉をどう使うかだけでなく、伝えようという気持ちが大切なんだなと実感しました。



動画で詳しく!

毎日英語に触れる

6年間の英語指導で、基礎から応用までを身につける

1・2年生は毎日20分、3年生以上は45分授業を週3回、20分授業を週2回実施。ネイティブ教員による生の英語と日本人教員の日本語によるポイント解説を組み合わせ、6年間で英語の基礎力から応用力までを身につけます。



関西学院大学留学生と交流

留学生とのコミュニケーションが、世界へと視野を広げる機会に

4・5年生は関西学院大学の留学生と交流授業を行い、ランチタイムなどにも英語で交流します。さまざまな国籍の学生とのコミュニケーションを体験することで、他国との文化や環境、考え方の違いを学びます。



英語検定

自ら高い目標を設定し、実用英語技能検定（英検）に挑戦

子どもたちの英語への関心を高めることをめざし、本校を準会場として毎年1回英検を実施しています。5・6年生は全員、1〜4年生は希望者が受験。より高い級の取得を目標に定め、互いに励まし合いながらチャレンジしています。



韓国や台湾への訪問 ／ Zoomを活用した国際交流

英語を用いて他国と交流する

5年生は台湾、6年生は韓国と交流を行います。また有志児童による訪問交流も実施。台湾・韓国それぞれ現地の小学校で英語を使い、共に学んだり遊んだりします。また3年生はインドネシア、4年生はオーストラリアの小学生とZoomで交流を行います。

Voice

CCTでは実際にCAさんやホストファミリーとのかかわりを通して、改めて人とつながる楽しさに気づきました。そしていつも身近にある言葉や文化などが自分とは異なる人々とも楽しくかかわり合えることを学びました。CCTでは英語が通じない時もありましたが、それも自分自身を知る良い経験だったと考えています。普段の英語の授業でも英語を通して人とのかかわりの大切さを学んでいます。



初等部の柱
3
全員参加・理解

Universal



全員で「わかる」。
全員で「助け合う」授業。

発言しやすい教室づくりで、他者意識を高める

キリスト教主義に基づき、「誰一人取り残さない」授業をめざします。子どもたちが常に「よりよい私たち」をめざせるように、お互いのかかわり合いの質を高め、他者に共感する能力や思いやりの心を育みます。そのためには、子どもが安心して授業に参加できる環境とすることが重要です。答えを間違えても肯定的に受け止め、それを新たな学びを生むきっかけとするなど、子どもが安心してアウトプットできる教室づくりをめざしています。



学びの内容を整理しながら、さまざまな表現力を身につける

学習の節目において、学んだことを振り返り、それを自分の言葉で表現します。時には文章だけでなくイラストや図解を入れるなど、創意工夫を凝らし、わかりやすく表現する力を養います。



相手にわかりやすく伝えることが、思考の整理に役立つ

授業では、子どもたちが教室の前に立ち、友達に対して自分の考えを説明する機会を多く設けています。これによって、「物事を論理的に思考し、整理する力」が身につきます。

Voice

授業では、一人ひとりが出した問いや意見をクラス全員がよく聴き合います。それを話し合ったりグループで調べたりすることで考えがどんどん広がって、とても授業が面白くなります。ときには、クラスの仲間が「だけど…」「もし～だったら…」などをつぶやいて、それがきっかけになってさらに授業が深くなっていくのが僕はとても好きです！



SDGs Report

教員の声

「個」の問いを「皆」の学びに



子どもの問いから学びがスタートします。疑問をクラスで共有後、他者が意見を述べ、それに対して他者が同意や反論、再現をして、クラス全体で解を洗練、練り上げます。また、子どもたちのニーズや目的に応じて、ペアやグループ、個別など、さまざまな学習スタイルを取り入れています。学習内容によっては子どもたちに計画、運営を任せます。そこには、自主的に休み時間に相談する姿や、自治的に活動を進めていく姿があります。誰もが自分事として日常・社会事象を捉え、解決していく集団であってほしいと願い、日々子どもたちと共に学んでいます。

髙山 真希 教諭

初等部の柱
4
本物

Authentic



本物を知る。自分を知る。

平和の尊さを学び、心のつながりを体験する

5年生では平和を学ぶ旅として被爆地である広島を訪問。平和記念公園のさまざまな施設や記念物を見学したり講話を聞いたりして、「戦争」を自分の体で感じ取り、平和の尊さを学びます。また、広島県江田島市の皆様のご協力のもと民泊を体験。各民泊先で島の方と交流することで、温かい心のつながりを実感します。



KGSO

大学生との交流を通して学ぶ、「本物」のスポーツ

(Kwansei Gakuin Sports Omnibus)

関西学院大学体育会の学生によるスポーツ教室を受講します。子どもたちは、大学生アスリートたちによるプロさながらのプレーと出合い、自身も一緒にプレーすることで、「本物」のスポーツの楽しさを学びます。



音楽祭

心をひとつにして感動の舞台をつくりあげる

「届けよう心のハーモニー」をスローガンに、毎年秋に音楽祭を開催します。合唱や器楽合奏など、各学年が練習の成果をチャペルや中央講堂で発表。児童全員で目標に向かって支え合う中で、仲間という存在の大切さを実感します。



宝塚歌劇鑑賞

地元宝塚で過ごす夢のような時間

6年生は卒業の思い出のひとつとして、宝塚歌劇を鑑賞します。子どもたちはタカラジェンヌの歌や芝居、ダンスなど、磨き上げられたプロの技に触れることで、地元の文化の素晴らしさを体感します。



文化芸術教室

演劇、ミュージカル、合唱などさまざまな芸術に触れる

全学年で毎年違う内容の芸術公演を鑑賞します。子どもたちは専門家のパフォーマンスを通じて、それぞれの芸術の魅力を実感します。

Voice



広島平和資料館では、戦争について学ぶとともに、被爆者の方々のさまざまな思いを知ることができました。もし自分がこのような経験をしたらと思うと、恐怖や不安で胸が締め付けられます。広島では、被爆された佐々木禎子さんがモデルとなった『原爆の子の像』に、5年生みんなで1か月前から折って準備を続けた千羽づるをささげることができました。戦争がこの世からなくなるように、二度と同じことが起こらないように、と祈りました。

SDGs Report

自然体験キャンプ

豊かな自然の中で、自分自身の成長を実感

関西学院千刈キャンプで行われる自然体験キャンプでは、3年生の子どもたちが自然体感プログラムやザリガニつり、キャンプファイヤーなどを体験。自分の役割を意識しながら仲間と協力して生活することで、新しい自分に出会うことができます。



田植え体験

田植え体験を通して、新しい学びを得る

5年生の子どもたちは、農業への理解を深めるために、関西学院同窓会の皆様のご指導のもと田植えを体験します。自分の手で苗を植える貴重な経験は、食の大切さを学ぶよい機会となっています。



深化を続ける初等部の学び



ICT教育

ICTを活用した新たな教育の在り方

社会の情報化が急速に進む中、教育においても「ICT（情報通信技術）」が積極的に導入されています。初等部では、各教室および特別教室にプロジェクター、PC、書画カメラ、AppleTVなどを配備。主要教科においてはデジタル教科書を用いて、日々の学習に効果的に活用しています。

動画で詳しく！



Point 1 個別最適な学び

児童全員が1台ずつiPadを使用します。教科書や図書資料に加えて音声資料や映像資料の活用など、学びの選択肢が大きく広がりました。児童は自分に合った資料を活用し、自分なりのまとめ方でそれを表現。個別最適な学びを実現しています。また「ロイロノート・スクール」などのアプリを活用することで、一人ひとりの個性的な学びをクラスで共有し、意見交換をしています。



Point 2 全国初「スタディサプリENGLISH」の導入

5・6年生の授業および家庭学習を対象に、“小学校としては全国で初めて”スタディサプリENGLISHを導入しました。本来中学生を対象とするこのアプリは、ゲーム感覚で楽しみながら、自分のレベルにあった内容を進めることができます。これにより、自分のペースで英語を学ぶ“個に対応”した学習環境を実現しています。

Voice

iPadを使った授業は、友達と意見や写真を共有することができて、新しい学びがたくさんあります。また体育の授業ではダンスや跳び箱の動画を撮影し、客観的に自分を振り返ることもできました。その時に先生からのコメントもあって励みになります。またiPadを通じて世界中の人たちとコミュニケーションを取り、国際交流ができたことが一番印象に残っています。ICT教育のおかげで自分の世界を広げることができました。





5教科

「なぜ」を追究する姿勢が学びの理解を深める

初等部では教科を問わず、「なぜそうなるのか」「それぞれの知識や事象がどうつながるのか」を追究することを大切にしています。各教科で身につけた知識と知識を結びつけて考え、学びを活用する力を習得。与えられた問題を自分の力で解決する姿勢を身につけることは、より深い理解につながります。

5 各教科の特色

算数

算数の楽しさを感じながら、「数量や図形についての概念や性質」を考察する力を身につけ、学力の確かな定着を図ります。

理科

机上の学びだけでなく、実験や観察などを体験することで、科学的な思考力や判断力を培います。同時に、身の周りの現象、自然への関心や問題意識を高めます。

国語

低学年では内容を正確に読み取ること、高学年では理解した内容を自ら表現することを通じて、学びの理解を深めます。

英語

学年に応じて、段階的に語彙や4技能を習得します。将来に役立つ英語力の基礎と、積極的なコミュニケーション力が身につきます。

社会

グローバルな視点で物事を考える力を養うとともに、主体的に社会とかかわり、他者の気持ちに寄り添い判断する力を習得します。



教員研修

よりよい授業環境をめざす

子ども同士のかかわり合いの質を高めるためには授業がどうあるべきか、理想の学びに向き合う教員研修に力を入れています。各教員が互いに授業を公開し評価し合う授業検討会や、読書会、勉強会などを積極的に行うことで、よりよい学びの場づくりをめざします。

動画で詳しく！



実力テスト

自分の学力レベルを見極める

自分の学力レベルを測るため、年に1回、3学期に全国学力テストに挑戦します。毎学期行われる期末テストと合わせて、1年間で身につけた学力を自分自身で確認し、今後の学習目標の設定を行います。



教科担任制

それぞれの教科を専門的に学ぶ

1・2年生は生活科、音楽、図工、聖書、3〜6年生は全教科で専科制を採用しています。専門性の高い授業で、中学部や千里国際中等部への進学を見据えた応用的な内容にも取り組みます。

初等部での1日［安全・安心への取り組み］

登校



警備員、PTAに見守られながら、毎朝元気に登校。社会の一員として、ルールやマナーを身につけます。耐震性、防犯性に配慮し、万全の安全対策を施した校舎が子どもたちの学校生活を守ります。

8:00

こころの時間



一日のはじまりは「ベーツチャペル」での礼拝からスタート。聖書の言葉に耳を傾け、讃美歌を歌い、祈りをささげます。

8:40

午前の授業



午前中は45分の授業を1〜4限まで実施。学びが楽しくなるさまざまな授業を行っています。

9:00

ランチタイム



教室やダイニングルーム、芝生でみんなと一緒にランチタイムを過ごします。また、家庭だけでなく学校でも食育について学びを深めるため、お弁当を持参していただくよう各家庭にお願いしています（外部業者によるサンドウィッチ・お弁当を1日前からスマートフォンで注文できます）。

12:40

フリータイム



校庭や芝生で、友達と元気に遊びます。自分たちで遊びを創造することも大切な学びの一つです。

13:05

クリーンタイム（木曜日のみ）



掃除の習慣を身につけると同時に、役割分担しながら協働する大切さを学びます。

13:05

午後の授業



午後は学年ごとに異なりますが、5〜7限の授業を実施。終礼まで元気な声が響きます。

13:25

放課後



メディアセンターで本を読んだり、グラウンドで遊んだりと、思い思いの時間を過ごします。

15:15

下校



正門前から続く木々でできたアーチを抜けて、友達と仲良く下校します。

16:00



初等部での1年

4月



- 入学式
- 1学期始業礼拝
- 新入生を迎える会
- なかよし集会
- 健康診断
- 身体計測
- イースター礼拝
- 交通安全教室
- 授業参観・学級懇談会※
- PTA総会※

5月



- なかよし遠足
- 自然体験キャンプ
- 避難訓練（火災）
- 1年聖書と讃美歌に親しむ会
- 6年カナダ・コミュニケーション・ツアー
- 個人懇談会※
- ペンテコステ礼拝

6月



- 5年田植体験学習
- 春季宗教週間
- 花の日礼拝
- 聖書講座※
- 2年なかよし宿泊

7月



- 5年聖書と讃美歌に親しむ会
- 水泳教室
- 学期末テスト
- 4年自然体験キャンプ
- 5年平和を学ぶ旅
- 1学期終業礼拝
- 個人懇談会※

8月



- 夏期休暇

9月



- 2学期始業礼拝
- 創立記念礼拝
- 身体計測
- 1年千刈キャンプ
- 3年、4年聖書と讃美歌に親しむ会

10月



- 命を守る学習（防犯）
- 聖書講座※
- 秋季宗教週間
- 音楽祭
- オープンキャンパス

11月



- 収穫感謝礼拝
- 体育祭
- 3年千刈キャンプ
- 文化芸術教室

12月



- 学期末テスト
- 個人懇談会※
- クリスマス礼拝
- 2学期終業礼拝

1月



- 3学期始業礼拝
- 身体計測
- 避難訓練（地震）
- 作品展
- マラソン大会
- 2年聖書と讃美歌に親しむ会

2月



- 作品展
- 聖書講座※

3月



- 学期末テスト
- 授業参観・学級懇談会※
- 6年聖書と讃美歌に親しむ会
- 卒業生を送る会
- 卒業式
- 修了礼拝

※保護者対象

（年度によって実施時期が異なる場合があります）



一貫教育で、国際性・人間性豊かな実力ある世界市民を育む

キリスト教主義に基づく「学びと探究の共同体」である関西学院。
初等教育から大学・大学院に至るまでの一貫教育を通して、スクールモットーである
“Mastery for Service”を体現し、より良い社会をつくる人材の育成をめざしています。

関西学院の一貫教育・併設校

関西学院初等部

**意志・知性・情操を育む
生きるための心と知性を学ぶ**

社会と人のために自らを鍛え、将来大きく咲かせる夢の“種”を発見する6年間。キリスト教主義教育のもと「意志・知性・情操」の基礎を固めます。

詳しくはこちら





（初等部からの推薦は0〜10名）

関西学院中学部

5つの学びを柱とし、「感謝・祈り・練達」を理念とした全人教育

キリスト教主義教育・読書・英語・体育・芸術を教育の柱として、受験勉強に縛られない、豊かな学びを実施。確かな基礎力と探究心、思考力、他者に奉仕する実践力を養います。

詳しくはこちら



千里国際中等部（SIS）

**国際色豊かな環境で
最先端の教育活動を展開**

詳しくはこちら

さまざまな言語が飛び交う多文化共生という環境の中で、「知識と思いやりを持ち、創造力を駆使して世界に貢献する個人」の育成を図ります。



関西学院高等部

**多様なカリキュラムを通して、
人間性を育む**

大学や社会で必要な学力や教養を身につけるためのさまざまなカリキュラムを展開。普段の学びの他に、キリスト教教育、人権教育、課外活動を積極的に行うことで、総合的な人間性を醸成します。

詳しくはこちら



千里国際高等部（SIS）

**中等部で作った基礎力をベースに
進路・興味に合った授業を履修**

詳しくはこちら

「5つのリスペクト」という行動指針を設定。生徒自らの判断で行動する力を養います。生徒自身が科目を選ぶ独自の時間割システムで学ぶ意欲を引き出します。



関西学院大学

**社会に貢献する「世界市民」をめざし、
幅広い知識と深い専門性を身につける**

詳しくはこちら

高度な知識に加え、国際性と創造力、課題発見・解決能力、実行力を養成。思いやりと高潔さを持って“Mastery for Service”を体現し、地域社会・国際社会の発展に寄与する「世界市民」としての資質を身につけます。



関西学院短期大学

**保育に関する専門知識と実践力で、
子どもの幸せに貢献できる保育者を養成**

詳しくはこちら

少人数授業やアドバイザー制度など、きめ細かい教育を実施。3つのH（Head：真理の探求、Heart：自分を愛し人を愛する心、Hand：奉仕と実践）を大切にすることを教育の理念とし、専門性と実践力を持つ保育者を育てます。



— Basic Information

基本情報

時程表

始業	8:25
朝の会	8:25〜8:35
こころの時間	8:40〜8:55
1限	9:00〜9:45
2限	9:55〜10:40
	通常授業時程 | 7時間授業時程
フリータイム	10:40〜10:55
3限	11:00〜11:45
4限	11:55〜12:40
昼礼・ランチタイム	12:40〜13:05
フリータイム（木曜日のみクリーンタイム）	13:05〜13:20
5限	13:25〜14:10
6限	14:20〜15:05
7限※	- | 15:25〜16:10
終礼 | 5限までの時	14:10〜14:20
終礼 | 6限までの時	15:05〜15:15
終礼 | 7限までの時	- | 15:05〜15:15
最終下校	16:00(5限終了時は15:00) | -

※原則、クラブ活動及び委員会活動がある時のみ、7時程となる。

制服紹介

本学指定の制服を着用いただきます。濃紺と白を基調とした制服。
品位と機能性を追求したデザインです。



合服



夏服



冬服

PICK UP

「きょうの初等部」

初等部HP、Instagramでは日々の学校生活をブログ形式で紹介しています。



詳しくはこちら

学校基礎データ（2025年2月1日現在）

児童数	536人（男250人　女286人） 1学年／3クラス　1クラス／30人
教員数	32人（他、講師18人）

学費・その他諸費（年額）／2025年度

学費	授業料		1,035,000円
その他の諸費	教材・学年宿泊行事等前納金	65,000円	225,000円
	図書購入費	1,000円	
	ICT関連費	19,000円	
	PTA会費	15,000円	
	修学旅行費積立金（1〜5年次）	120,000円	
	後援会費	3,000円	
	同窓会入会金（初年度のみ）	2,000円	
合計			1,260,000円

※これらの他に、制服・体操服・iPad等の制定品費が別途必要となります。詳細は入学時にお知らせします。

— Support

学内外でのサポート

カウンセリング



常駐のスクールカウンセラーが子どもたちのさまざまな悩みと向き合い、一緒に解決します。また、保護者の方々のご相談にも迅速かつ丁寧に対応しています。

※児童と保護者を対象にした完全予約制で、プライバシーにも配慮しています。

動画で詳しく!

安全面の取り組み



ミマモルメ

全児童が携帯するICタグを通して、正門を通過すると子どもたちの登下校の情報が学校・保護者にメールで配信されます。緊急連絡時には、指定のメールアドレスに連絡できるなど、迅速かつ確実な情報伝達を行える環境を整えています。



避難訓練

地震、水害、火災などさまざまな状況を想定した避難訓練を毎学期実施。万一の事態に対応できるよう、子どもたちも真剣に取り組んでいます。

関西学院全体の取り組み

中学部・高等部との交流

中学部・高等部の生徒による初等部訪問や中学部の授業見学など、双方の交流の機会を設けています。早期から進学後の発展的な学びの意識を持たせるとともに、広い社会性を身につけるきっかけとなっています。



KGSO（Kwansei Gakuin Sports Omnibus）

関西学院大学体育会の学生によるスポーツ教室を実施しています。

詳しくはP.08へ

関西学院大学留学生と交流

4・5・6年生は、関西学院大学の留学生と交流を行います。

詳しくはP.06へ

— Facilities

初等部の施設



ベーツチャペル

毎日の礼拝を行う厳かな雰囲気に包まれたチャペルです。



ITルーム

プロジェクターを3方向に2台ずつ配置。6グループが個々にプレゼンをしたり海外の児童と会議をしたりできます。



運動場

全面に人工芝を敷設したグラウンド。
休み時間には笑顔と元気な声で満ちています。



体育館（空調完備）

全学年を収容可能。熱中症対策の一環として空調システムを完備し、快適な授業環境を提供しています。



動画で詳しく!

メディアセンター

3万冊以上の蔵書を誇るオープンスペース。
洋書を片手にネイティブ教員と話す光景も見られます。



ダイニングルーム

月に一度、児童たちが互いに誕生日を祝うための、学年別カレー会食もここで行われます。



カウンセリングルーム

専門のカウンセラーが、問題をすばやくキャッチし、教師と共に迅速に問題解決に努めています。



メイプルルーム

英語など少人数制できめ細かな授業を行います。



音楽室

ピアノはもちろん、トーンチャイムや民族楽器までさまざまな楽器を備えています。



図工室

陶芸専用の電気窯も備えるなど、幅広い活動が可能です。



和室

茶道や百人一首など日本の伝統文化を学びます。



教室

電子情報ボードを完備。視覚的趣向を凝らした授業を展開しています。



理科室

専科教諭の指導のもと、実験や観察など児童の科学への興味をひきだします。



初等部第2期生
関西学院大学 社会学部 卒業
NHK鳥取放送局 キャスター

甲斐 涼香 さん



Q 初等部時代の思い出、印象的な出来事を教えてください。

課外部活動のチアリーダー部です。月に一回ほど、上ケ原キャンパスで教えていただいていました。また関西学院大学応援団総部主催の「Winter Festa」という大舞台への参加も印象的です。一丸となって練習したことや舞台から見た景色は今でも鮮明に覚えています。一貫校だからこそ体験できた貴重な機会だと感謝しています。

Q 初等部卒業後の学生生活について教えてください。

初等部で培った精神を胸に、中学部から大学まで積極的に行動した学生生活でした。特に思い入れがあるのは、高等部で「社会部 茶道班」を設立したことです。たくさんの先生と交渉し、お茶の先生も自分たちで探しました。最終的には留学生の日本文化体験を任せていただき、活動の幅も広がっていきました。

Q 現在どのようなお仕事をされているか教えてください。

NHK鳥取放送局でキャスターをしています。夕方の番組「いろ★ドリ」を担当し、スタジオキャスターや中継を担当しています。自分で取材を進めてリポートを出すこともあります。取材を受けてくださる皆さんの言葉があってこそ、1つの放送が成り立っていると実感する毎日です。毎朝の礼拝で聖書やお話で言葉に触れていたことが今に通じていると感じます。

Q 初等部の後輩たちへメッセージをお願いします。

人とのつながりを大切にしてください。思い返してみると、初等部でできた友人とは、うれしい時、つらい時、頑張らないといけない時など、たくさんの時間を共有してきました。今でも縁が続いている、かけがえのない仲間たちです。ぜひ友人や先生方との関係を大切にしながら、学校生活を楽しんでください！



初等部第10期生
関西学院千里国際高等部 在学中

左近充 美陽 さん



Q 初等部時代の思い出、印象的な出来事を教えてください。

小学生の頃、皆で力を合わせて頑張り、一致団結することがとても好きでした。初等部の体育祭や音楽祭は、皆が一つになれる特別なイベントで、そのときの高揚感は今でも心に残っています。朝早く登校して男女一緒にドッジボールをしたことや、休み時間に友達と会話したり、大人数で騒いだりして先生に怒られたことなど、何気ない日常が大切な思い出として心に残っています。

Q 初等部卒業後の学校生活について、現在取り組んでいることなど教えてください。

関西学院千里国際中等部・高等部では、校則がない代わりに、自分の行動に責任を持ち、自主性を発揮することが求められます。学校生活では、学期ごとに異なるスポーツの部活に所属したり、英語学習に力を入れたりしています。この冬休みには学校のプログラムでポーランドに2週間滞在し、現地の学生との交流やホームステイなど、とても貴重な体験ができました。

Q 今後学んでいきたいことや、目指している進路について教えてください。

まだ具体的な進路ややりたいことは決まっていませんが、これまで学んできた英語を生かして国際的に活躍できる仕事に就きたいと考えています。また、海外の大学への進学にも興味があります。千里国際の多様な環境で学びながら、国内外でのさまざまな経験を通じて自分の可能性を広げ、自分らしい進路を見つけていきたいと思っています。

Q 初等部の後輩たちへメッセージをお願いします。

自分が正しいと思うことをしてください。そして、やりたいことを周囲の意見や他人の目を気にして諦めないでください。私も初等部の頃、代表委員に立候補しようと迷い、挑戦せずに後悔した経験があります。戻りたいと思っても時間は戻せません。一日一日を大切にし、後悔のないように初等部での毎日を楽しく過ごしてください！

関学ファミリーからのメッセージ Message

初等部で豊かな感性や人を思いやる気持ちを育んだ卒業生たち。
6年間の学びを糧に、卒業後はさまざまな場所で活躍してきました。



初等部第4期生
関西学院大学 人間福祉学部 卒業
東京サントリーサンゴリアス 所属

平生 翔大 さん

Q 初等部時代の思い出、印象的な出来事を教えてください。

初等部での思い出は6年生の体育祭と卒業式に学年全員で歌った「世界に一つだけの花」です。6年生の体育祭の騎馬戦で最後勝った時は今でも覚えているぐらいうれしかったです。卒業する寂しさやこれからの生活への不安と期待などさまざまな感情が入り混じった中で歌った「世界に一つだけの花」は、私の背中を押してくれた印象的な出来事でした。

Q 初等部卒業後の学校生活について教えてください。
またどんな学びがあったかも教えてください。

中学部、高等部、大学と関西学院で過ごし、全てでラグビー部主将を務めました。この10年間は悔しいことや苦しいこともたくさんありましたが、どんな時でも必ず支えてくれる人はいます。何かを選択する時に、自分が一番成長できる道を選ぶことが一番重要であると実感しました。それはタフな選択であることが多いですが、仲間と苦楽を共にすることで達成感を共有できることがとても幸せだと感じました。

Q 4月からの新生活に向けて意気込みを教えてください。

4月からは社会人になり、環境も新しくなりますが、「Mastery for Service」の精神を忘れず常にチャレンジし続けていきたいです。仕事とラグビーの両立になりますが、ラグビー日本代表をめざして支えてくださった方に恩返しできるように頑張りたいと思います。

Q 初等部の後輩たちへメッセージをお願いします。

これから先たくさんの人に出会うと思いますが、友達は一生の宝物になります。時間は一瞬で過ぎ去ります。今友達と過ごせるかけがえのない時間を楽しんでください。また、自分を支えてくれる家族、友人、先生などへの感謝を持って生活してほしいです。今の生活は決して当たり前ではないということを忘れず、自分がワクワクすることにどんどんチャレンジしてください！





初等部第5期生
女子美術大学 在学中

原田 きな さん

Q 初等部時代の思い出、印象的な出来事を教えてください。

どの授業の時間も素敵な日々でしたが、特に、聖書と図工の時間が印象的でした。人を愛する気持ちや、生きる上で何が大切かという、目に見えないものの美しさを学びました。また、図工の中田先生には、授業を通して美術の世界の面白さを教えていただきました。その経験が、現在の作品制作の礎となっているように思います。

Q 初等部卒業後の学生生活について教えてください。

中学部卒業後に上京して女子美術大学付属高等学校に進学後、かけがえのない同学年と切磋琢磨し、美術系予備校にも通い続け、より精度を磨きました。女子美術大学では油彩画、立体作品など表現の幅を広げながら、美術の奥深さを発信するため、学外でグループ展を開催しています。

Q 今後学んでいきたいことや、目指している進路について教えてください。

4年生で卒業制作を経て、東京藝術大学大学院美術研究科絵画専攻への進学を希望しています。作品、ドローイングファイル、ポートフォリオの提出など、今までの専門知識が試されるので、努力を怠らないよう、励みたいです。その後も、作家活動を続けつつ、美術関係の仕事に携わりたいです。

Q 初等部の後輩たちへメッセージをお願いします。

魅力的な作品を制作するためには、努力もそうですが、私は世界を見通す力も大事だと思います。大きなものさしを心の中に持っておくだけで視野が一気に広がり、想像が豊かになります。たとえ苦しくても、たくさん挑戦して悩んで、経験を積んでいくと、豊かな人生が送れると信じています。学生生活、楽しんでください！

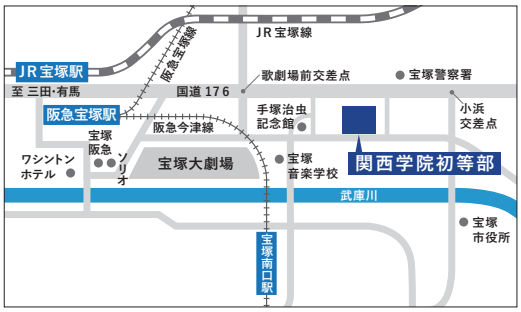

原田さん制作の作品「拝啓、これからのあなたへ」

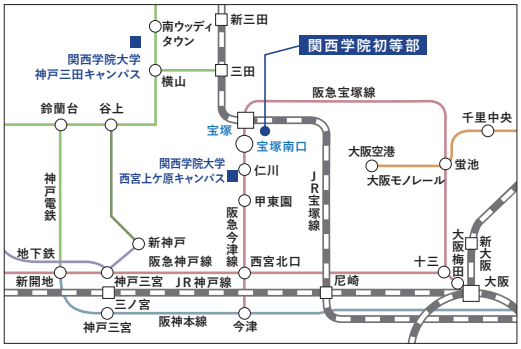


※掲載の所属は、2025年3月現在の情報です。

Access

阪急電鉄「宝塚」駅下車1,100m／阪急電鉄「宝塚南口」駅下車800m
JR「宝塚」駅下車1,200m





Event

入試イベントスケジュール

入試イベントの詳細および
お申込みは、こちらまで

学校説明会（上ケ原キャンパス）	2025年 4月12日（土）
ダブルふれあいデー（初等部）	2025年 5月10日（土）
入試説明会+個別相談会（初等部／保護者のみ）	2025年 6月28日（土）
A入試（初等部）	2025年 9月8日（月）
B入試（初等部）	2025年 10月18日（土）

※ただし、状況により、記載内容に変更・中止が生じる場合があります。

公式SNS

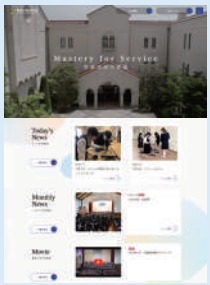
小学校入学準備のための
お役立ち情報を配信しています。

Instagram　LINE

学校、そして児童の日常を知っていただくために

関西学院初等部のホームページでは、入試情報のほか、毎日の学校の様子を紹介する「きょうの初等部」、「動画で見る初等部」など、さまざまなコンテンツを通して児童の日常生活や学校の雰囲気をお届けしています。

関西学院初等部ホームページ　https://es.kwansei.ac.jp



関西学院初等部

〒665-0844 兵庫県宝塚市武庫川町6-27
TEL:0797-81-5500
FAX:0797-81-5010
E-mail:shotoubu@kwansei.ac.jp